

情熱の羅針盤

No.1 (2023.04.10)

【祝☆ご入学！】

兵庫県立三田祥雲館高等学校・第22回生の皆さん、本日はご入学おめでとうございます。皆さんを心から歓迎します。そして、ここから始まる241通りの高校生活がどのようなものになるのか、本当に楽しみです。きっと、皆さんも期待と不安と、そして強い意志とを胸に抱きながら校門をくぐったことでしょう。もちろん今はまだ緊張もあると思いますが、大丈夫、すぐに慣れますよ。

三田祥雲館高校は、皆さんの持つ力、可能性、特技や個性などを発揮し、伸ばすことのできる機会がたくさんあります。そしてそれらの機会をとおして、今はまだ出会ったばかりの22回生のメンバーが、いつの間にかかけがえのない仲間になっていくはずです。学習、部活動に生徒会、探究活動、校外のさまざまな人々との交流・協働、そして多彩な学校行事が皆さんを待ち受けています。そんな3年間は、もちろん楽しいことばかりではなく、これまで経験したことがないほど忙しい日々もあるでしょう。見たことがないほど難しい教科書にも出会うでしょう。もしかすると、これまで味わったことがないような悔しさに涙を流すこともあるかもしれません。でも、全部ひっくるめて“今しかできないこと”なのです。そしてそんな時でも周りを見れば、共感し、共有し、ともに涙を流してくれる仲間が必ずいるはずです。今しかできないこと、今しか味わえないことを、仲間と一緒にたくさん経験しながら、一度きりの高校生活を最高のものに仕上げていきましょう。

さて、この「チーム22回生」を居心地よく、そして高め合える場にしてゆくために全員が胸に刻んでおいてほしい合い言葉を書いておきます。それは、「研鑽・健剛・謙虚」です。読めますか？「けんさん・けんごう・けんきょ」と読みます。

- 「研鑽・健剛・謙虚」の意味
- ◆「研鑽」…授業、部活動、学校行事など、あらゆる機会で自分を高めるために努力すること。
 - ◆「健剛」…十分な睡眠と食事を基盤とした規則正しい生活を継続し、体も心もへこたれない自分を作ること。
 - ◆「謙虚」…周囲の人への感謝と敬意を持ち、大きな声で挨拶をすること。また、身の回りのものを大切にし、公共の場所の掃除を徹底すること。



漢字の熟語で見ると難しく感じられるかもしれませんが、大切にしてほしい中身はそれほど難しいわけではありませんね。いやむしろ、言われなくても分かっているよ…ということばかりでしょうか。しかし、これらをいつも実践し、“当たり前レベル”にしておくのは案外難しいものです。

挨拶については、4月5日の登校日でもお話しましたが、その後に早速大きな声で挨拶をしながら歩いていた生徒が何人もいました。すぐに実行しようとする姿勢が素晴らしいですね。

全員で良いチームを作っていきましょう。もちろん、皆さん全員が主役です。



【22回生のこと♪】

男子105名、女子136名の計241名です。驚くべきは出身中学校の数の多さで、本当に広い範囲の、たくさんの中学校から集まっています。以下に挙げてみます。※（ ）内は出身中学の数。

尼崎市（1）、伊丹市（2）、猪名川町（1）、加東市（1）、川西市（1）、神戸市（7）、三田市（8）、宝塚市（7）、丹波市（2）、丹波篠山市（5）、西宮市（5）、三木市（1）、大阪府（1）、愛媛県（1）、神奈川県（1）、千葉県（1）、東京都（1）

合計で46もの中学校に及びます。このことから想像できるのは、「周りは知らない人だらけ…」という状況で、寂しさや不安を感じながら高校生活をスタートさせている人がきっと大勢いるだろうということです。4月5日の新入生登校日に、「今日から近くの人に話し掛けてみよう」と課題を与えましたが、これからも不安をお互いに解消し合えたら良いですね。

そして本日、入学式で新入生代表宣誓をしてくれたのは、4組・平江 遼真 くんでした。素晴らしい宣誓をありがとう。

それではチーム22回生の年次団を以下にご紹介し、各先生方からのご挨拶を掲載しておきますね。（（ ）内は担当教科／部活動顧問です。）

◆年次主任：吉崎 淳（国語／男子バスケットボール部）



改めまして、ご入学おめでとうございます。22回生の年次主任をさせていただきます、吉崎 淳です。3月末の合格者説明会以来、皆さんを祥雲館の一員として迎える日を楽しみにしていました。今日の入学式で緊張の中にも晴れ晴れとした皆さんの表情を見て、いよいよ“チーム22回生”が始まったんだと、少しずつ実感が湧き始めています。

高等学校の3年間は、皆さんが想像する以上に高速で過ぎていきます。今日入学したばかりの皆さんに3年後の話をしてもしんじられないかもしれませんが、皆さんがこの祥雲館を卒業する時に、胸を張って「やり切った！」と言えるような時間の過ごし方をしてもらいたいと思います。勉強はもちろん、部活動や生徒会、探究、そして友人や先生と話す時間など、その時だけのいろんな瞬間を楽しんでください。私たち年次団は、皆さんの「瞬間」が有意義で、忘れられないものとなるよう全力でサポートしていきます。これからよろしくお願いします。

◆年次副主任：樋口 敦子（英語／ESS部）

22回生みなさん、初めまして！ 22回生副主任、英語とESS部を担当の樋口敦子です。新生活への不安があったり、早速忙しいスケジュールについていくのに必死なのではないでしょうか。しかし、昨年度までコロナ禍による様々な規制があったことを思うと、やはり無事入学式やオリ合宿を行え、高校での日常がスタートすることに私たちは感謝なくてはと心から思います。どうか一日一日を大切に、対面でのコミュニケーションを楽しんでください。

私が日々大切にしていることは、元気な挨拶と清掃です。当たり前のことすぎて、忙しい高校生活の中で置き去りにされがちなことでもあります。元気な挨拶で一日がスタートすると、自分のみならず周囲にも活気が出ます。また、教室やトイレを丁寧に清掃することで、一つ一つのことを大切にしようという気持ちがわき、清掃という共同作業を通して互いの心を通わせることができます。毎日ともに過ごせる時間を楽しく大切に積み重ねていきましょう。



◆1組担任：中村 宗治（英語／男子テニス部）



22回生の皆さん、ご入学おめでとうございます！

1組担任の中村 宗治です。親しみを込めて「しゅうじ先生」って呼んでくださいね！ 担当教科は英語です。「楽しく・わかりやすい授業」（ありきたり！？）を心がけています。クラブ活動は男子テニス部の顧問です。テニスは中・高・大とずっと続けてきた恋人のようなスポーツです。生徒満足度No.1の部活（自社調べ）なので、少しでも興味をもった人は一緒にテニス部で青春を過ごしましょう！ 最後に、本校では探究活動や海外研修など様々なことにチャレンジできる環境が整っています。「やってみたい！ やってみようかな...」という気持ちを大切に、どんどん挑戦して、たくさん失敗しましょう！ 挑戦した人しか見えない景色、見てみたいと思いませんか！？

◆2組担任：松上 翔大（社会／女子バスケットボール部）

22回生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

2組担任の松上翔大です。1～3組の歴史総合で、みんなと一緒に勉強することになります。阪急甲東園駅にある「三代目あくたがわ」のラーメンが好物です。

僕が普段大切にしているのは、「自分の関心以外に目を向ける」ということです。だから本屋に行くと、必ず理系の本から眺めます。友達におすすめされた本はすぐに置きます。自分の世界を広げるためには、自分だけでは考えもしないことを取り入れる必要があるからです。学校は、それを“超”効率的にできる場だと思います。関心があまりなかった教科・科目や、色々な人の探究発表はチャンスです。祥雲館での3年を、家系ラーメンくらい濃厚な日々にしていきましょう。



◆3組担任：池田 関子（保健体育／応援団チアリーディング部）



22回生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

3組担任の池田関子です。三田祥雲館へようこそ！ ですが、私もこの学校に来たばかりなので、学校のことがわからないことだらけなのは、みなさんと一緒です。今日から、祥雲館を知り尽くしていきましょう。そして、高校での生活を存分に楽しめましょう。そのために、この3年間でいろいろなことに挑戦して行ってほしい！ 得意なこと、好きなこと、勉強はもちろん、部活動、それと、苦手なこと、新しいこと...とにかくやってみましょう。やってみれば、自分にも周りにも何かが起こるかも。

◆4組担任：小田 祥平（理科／野球部・科学部）

22回生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

4組担任の小田祥平です。授業は化学（化学は2年次からがつり履修します）、部活は野球部と科学部を担当しています。RADWIMPSと阪神タイガースをこよなく愛し、LIVEや甲子園球場に行くのが大好きです！

さて、いよいよ祥雲館での高校生活がスタートしますね。22回生のみなさんには「なんとなく過ごす高校生活」ではなく、「何をするのか」、さらには「どのように取り組むのか」ということを大切にしてほしいと思います。成功も失敗も存分に味わいながら、お互いが高め合える年次になっていきましょう！ 阪神タイガースの応援以上に22回生を応援していきますので、一緒に充実した日々を過ごしていきましょう！



◆5組担任：竹中 秀明（数学／陸上競技部）



22回生の皆さん、こんにちは。

このたび、5組の担任になりました竹中秀明といたします。

教科は数学、部活動は陸上競技部です。君たちと同じように本校では1年目になりますが、全力で取り組みたいと考えています。

さて今、君たちは「どき、どき」や「わく、わく」といった気持ちの中にいると思いますが、いずれも「大きな期待」の現れだと思います。その気持ちを大切に、本校で多くのことにチャレンジをして欲しいです。「できる、できない」より「やってみる」が数倍楽しいです。そして多くの経験値が高校生活を豊かにしてくれると思っています。「きら、きら」とした高校生活になるように取り組んでいきたいと思っていますのでよろしくお願いします。

◆6組担任：谷口 祐真（数学／男子バスケットボール部）

22回生のみなさん。ご入学おめでとうございます！

6組の担任を務める谷口祐真と申します！ 皆さんとは数学の授業で全クラスにお邪魔します！ 趣味はお笑いライブや舞台鑑賞で、好きな食べ物はつけ麺です！

私の座右の銘は「+α（プラスアルファ）」です。これが意味するところは、常に101点を目指して努めようという意味です。まずは100点を目指すために凡事徹底と確認を怠らない。そのうえで、+1点を目指します。+1点について一番わかりやすい例は、私は「一言を添える」が+αだと考えています。ふとした瞬間でも「ありがとう」「ごめんなさい」が言える人になりましょう。その習慣は皆さん自身をきっと助けてくれます。小さな+αを重ねてこれから一歩ずつ一緒に成長していきましょう！！



【4月の主な予定です】※変更になる場合があります。日々の連絡をよく確認すること。

日付	予定内容	しめきり など
11日（火）	×線、心電図、年次集会、結団式 放課後：電子辞書販売（※購入後、まだ受け取っていない人対象）	・BYOD調査用紙（※端末購入対象）
12日（水） ～ 14日（金）	オリエンテーション合宿 in 鉢伏	・オリエンテーション合宿の感想（しおりに記入、しおりごと提出）
17日（月）	スタディーサポート（テスト）英、数 対面式、部活動紹介（部活見学期間開始）	・書道選択者の教材販売
18日（火）	通常授業	
19日（水）	スタディーサポート 国語、リサーチ（アンケート的なもの）	
20日（木）	通常授業	
21日（金）	部活動見学期間終了	・部活動入部届
24日（月）	週末課題、朝の小テストスタート	・週末課題
26日（水）	歯科検診	

情熱の羅針盤

No. 2 (2023.04.20)

【オリエンテーション合宿、お疲れ様！】



4月12日（水）～14日（金）、鉢伏高原でオリエンテーション合宿が行われました。到着した瞬間はまだ霧雨が顔に当たることもありましたが、その後は全日程晴天に恵まれ、大きな怪我や体調不良者・離脱者も出さずに終えることができました。みんな、本当にお疲れ様でした。行く前は大きな不安を感じていた人もいたかもしれませんが、多くの人が日程をこなすごとに緊張をほぐし、仲間を増やし、そして少しずつ自分を出すこともできるようになっていったように見えました。先生方のお名前も、結構覚えることができたのではないですか？

また、アンケートを見ると、この合宿を通じて高校生活への期待と気合いを持つことができたと感じている人もいて、いろいろな意味で成功を収めることができたと感じています。

解団式でも述べましたが、あの合宿を今後の学校生活にどう活かしていくのかは皆さん次第です。ひとまず週明け月曜はほとんどの人が元気に登校してくれましたが、他にも挨拶や規律、また周囲を見ながら積極的に行動することなど、質の高い学校生活を送るためのヒントがたくさんありましたね。オリエンテーション合宿を単に「疲れた」「楽しかった」で終わらせないよう、ヒントを頭の片隅に置きながら頑張っていきましょう。

オリ合宿・Competition Results

☆祥雲クイズ王決定戦 優勝 … 5組1班

☆大縄跳び 1位 … 5組

2位 … 2組

☆探究発表 1位 … 4組2班

2位 … 3組5班

3位 … 1組7班

☆合唱コンクール 1位 … 2組

2位 … 6組

3位 … 4組

★しおりの挿絵を描いてくれた人たち

1組 中村 梨愛 さん

2組 西谷 美咲 さん

2組 坂東 博文 くん

5組 日比 さや さん

ナイスな絵をありがとう。



【対面式、終了】

1年次生と2・3年次生とが体育館にて顔合わせをする「対面式」が終わりました。もちろん対面と言っても集団と集団でのものなので、個々人が本格的に先輩と交流したり会話したりするのはこれからということになりますね。でも、先輩方も興味津々でキミたちのことを見ていましたよ。

なお、対面式で新入生代表挨拶をしてくれたのは、3組・安藤佑羽彩 さんでした。素敵な挨拶をありがとう。



【桐島、部活入るってよ。】

↑このタイトルを見てピンと来た人は読書が好きな人かも？



対面式と同じタイミングで部活動紹介も行われました。祥雲館には多くの部活動や同好会があり、全校生徒の90%以上が何らかの活動に取り組んでいます。22回生の皆さんも是非部活動に入りましょう！中学でやっていたことを継続するもよし、全く未経験の新しいことに挑戦するもよし、です。自宅が遠くて時間が心配…という人には、活動ペースが緩やかな部もありますので、そういった部を検討するのも良いでしょう。

とにかく、まず何かを始めてみることをおすすめします。

部活動をすすめるのにはいくつかの理由がありますが、最も大きいのは何とんでも、部活動がもたらしてくれる「成長」と「出会い」の価値を知っているからです。卒業生のほとんどが「部活をやっていて良かった、辞めなくて良かった」と言います。クラスの友人とはまた別のところで、価値観を共有する仲間ができますので、部活の友人との結びつきが卒業後も続いている、という人もいます。これが「出会い」の部分です。

「成長」というのは抽象的ですが、内容としては粘り強さと時間管理の上手さを挙げることができます。1つのことに打ち込み、それを3年間継続するという粘り強さ。上手くいかない時でも、どうにか工夫を凝らしたり仲間と話し合ったりして、打開策を見付けようとする粘り強さ。これらは部活動ならではのものです。また、入試で面接試験を受ける際、自信を持って話すことも強みです。

「時間管理の上手さ」とはどういうことでしょうか。これは、部活動をすることによって自由時間は当然減るわけですが、そのことがかえって時間を有効活用しようとする力に繋がるということです。また、限られた学習時間の中で成果を出すためには、自ずと工夫や集中力が大切になっていきます。過去の卒業生の中でも、多忙な部活動と学習を両立させて、見事に志望校に合格した先輩がたくさんいます。時間が少ないからこそ、「今」を大切にする習慣が身につくようです。時間が多くても案外集中できない、いつでもできるからと先延ばしにしてしまうというのは、“高校生あるある”ですね。それならいっそのこと部活をやって、それ以外の時間を計画的に過ごす方が〇、というわけです。

さあ、いろんな部活が皆さんを待っています。先輩たちもちろん待っています。最初だけ、ちょっとエネルギーが要るかもしれませんが、一步を踏み出してみるときっと自分のレベルアップや思い出に繋がっていきますよ。迷っているくらいなら、まず見に行ってみましょう。



【週末課題&小テストが始まる！】

来週から小テストが始まります。原則として火曜日が漢字小テスト、木曜日が英単小テストです。いずれも朝のSHRで実施します。

週末課題は文字どおり週末に取り組んで、月曜日の朝に提出するものです。週末課題の一覧が示されますので、ノルティー手帳に書き写すなどして、ミスなくこなしてくださいよ。

特に小テストについては、前日だけのいわゆる突貫工事でやる勉強は×。合格はしたとしても、あんまり頭には残っていきません。それよりは、何日も掛けて少しずつ（あるいは繰り返し）覚える方が頭に残りやすいですし、学習としても効果的です。実施日から逆算して残り日数を頭に入れながら、計画的に学習に取り組んでいきましょう。また、課題等に関連した諸連絡も逃さないようにしてください。（ノルティー手帳、大活躍でしょ♪）

【オリエンテーション合宿を終えて ～しおりに書き残した言葉より～】

・クラスに知り合いが少なく、同室の人や班の人と話すことができるか不安でいっぱいだったが、男女問わずみんな優しく面白い人たちだと知って、たくさん話すことができたので安心した。飯盒炊さんでは、にんじんを大きく切ってしまうと固いまだったり、お肉を一番上に乗せてしまって赤いまだだったので、長時間火にあてていたら端が焦げてしまったりして、そのせいで水分がなくなってドロドロのカレーができた。ハプニングだらけだったけど、楽しくて美味しかった。



・予定がたくさん詰まっていた大変だったけれど、それだけ充実していたので女子4人で野菜を切った。切った野菜が鍋一杯で水が少なく、カレールウがカレー煮込みのようになってしまい、みんなで笑い合ったのが印象的だった。些細なことで笑い合える1組のメンバーと協力するこれからの行事が、もっと楽しみになった。

・探究活動では、たった3日間で内容を考え、ポスターを作り、発表できるのかと不安だったけれど、班員のみんなで意見交換をし、定義づけをし、内容を固めることができ、最終的に自分たちの納得する発表になった。また新しい友達も多くできたので、とても嬉しかった。お互いにマスクを外すことも多くて、顔を知ることができ、マスクを外すことへの抵抗も減った。

・最初は合宿に不安を感じていたが、行けて良かったと今では心の底から思っている。様々な活動の中でこの22回生の仲間とさらに仲良くなれたと感じる。校歌コンクールに向けて部屋のメンバーと練習をしたり、仲間と並んでカレーを食べたりした時間はとても大切な思い出となった。練習の成果もあり、2組は校歌コンクールで優勝することができ、嬉しかった。また、5分前行動を意識したり自ら考える力をつけたりすることもできた。

・合宿に行く直前まで不安で、家で何度もため息をついたり「行きたくないな」と言ったりしていたが、活動を通して周りの人と協力していく中で、少しずつ打ち解けた感じがする。特に校歌コンクールでは、はじめは歌詞も覚えられていない状況だったのに、練習していく内に「勝ちたい」という気持ちがみんなに芽生えたように感じて、本番で歌い終えた後はクラスが1つになったようだった。出会って3日くらいで合宿に行ったからこそ、何も知らない状態でクラスメイトと関わることができた良い機会だった。

・合宿を終えて、たくさん成長することができた。初めは気分がダダ下がりだった探究発表も楽しく思えるようになったり、同室の子に自分から話し掛けに行ったりなど、たくさんの新しいことに挑戦することができた。飯盒炊さんでは、私は玉ねぎが苦手なのにカレーに玉ねぎが3玉も入っていて、絶体絶命だった。お昼抜きかな…と思っていた時、「カレー抜きで、ご飯だけでも良いじゃないか」と最高の考えが浮かび、カレーを入れてくれる子に「カレーは大丈夫です」と言うと、周りの男子から「食べないよー！」と玉ねぎやじゃがいもを入れられた。唯一成長できなかったのは玉ねぎの克服である。



・合宿前にあまり友達を作れていなかったのが不安だったけれど、1日目の昼食の時に話し掛けて、5～6人で一緒に食べ、仲間と打ち解けることができた。お互い緊張していたが、自分から一歩を踏み出す主体性の大切さを実感した。飯盒炊さんでは火を大きくするために男子にまきを割ってもらったり、他の役割をしていた班員にも手伝ってもらったりして、団結力を深めることができた。この3日間で、将来求められていることについて深く考えたりクラスの人々と交流したりして成長できたと感じる。

・この合宿で、普通の学校生活よりも長い時間クラスの子たちと過ごして、友達の意外な面が見られたり、クラス以外の子たちとも仲良くなったりすることができて、これからの高校生活が楽しみになってきた。今までは、同じ中学の子がいなくて仲良くする人ができないかも…と思っていたけれど、逆にたくさんの子と話して仲良くなれて嬉しい。そこで思ったのは、「元々仲が良い子がクラスにいたら、その子とばかり行動して他の子とは話さない＝何も成長しない。友達がなかった分、たくさんの子と話す機会ができて良かった」と、プラスに考えることができた。どんなことでも「頑張ろう!」とプラスに考えれば気持ちも上がるし、どんなことでも乗り越えられそうだ。

・行く前は不安だったが、宿泊部屋で自己紹介をしたり、一緒に浴場に行き話したりする友達もできた。夜はお互いの中学校での話をしたが、部屋の子がみんな出身中学が違ったため盛り上がった。3日目の各クラスの探究発表では様々な意見が聞け、質問が飛び交って自分にはない考えを知ることができた。この合宿を経て、入学時に抱えていた不安もかなり消えた。



・日を追うごとに仲が深まっていき、とても楽しい思い出ができた。歯ブラシを忘れて途方に暮れていた僕に、同室の津江大成さんが歯ブラシを恵んでくれた。この恩を忘れずに生きていこうと思う。様々な人のいろんな一面を見ることができ、とても楽しかった。

・3日間で話せる友達が増えたことが何よりも嬉しかった。探究発表でも、ある班が「良い挨拶が好印象を生み出す」と述べていて、まさに3日間の合宿の中でそのことを体験・経験できたと感じている。また、他の発表でも自分の班にはないアイデアや伝え方、話の進め方を知り、自分もこんな感じでこれからの探究や学校生活を送ろうと思えて、人生のアドバイスを貰えたように思う。

・行きと帰りで全く雰囲気が違って、みんな打ち解けて仲良くなったなと感じたのと同時に、少し中学生から成長して引き締まった感じがした。私自身、今までは自分の行動や考えを振り返ることばかりしてきたが、もっと周りを見るべきだなと改めて思った。周りのみんながすごく優しく、会話や行動などにレベルの高さが表れていて、焦りもあるが、自分も勉強の能力も人としての内面的な能力も高まりそうな環境だなとワクワクした。

全体として、「不安が減った」、「新しい友達ができ」、「探究や学習などに理解が深まった」…といった感想がたくさん見られました。慣れない環境で疲労もあったと思いますが、それさえも誰かと分かち合ったり共感し合ったりすることができた行事になったのかな、と実感しています。ご理解・ご支援くださったご家族の皆さん、本当にありがとうございました！